

120年の軌跡

1

明治29年4月1日、宇都宮市は誕生しました。

今年は、それから120年になります。この間、宇都宮は成長し、まちの姿も大きく変わりました。このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介いたします。



◀市制施行当時の宇都宮市役所市制施行後、町役場から引き続き使用された建物(現在の中央3丁目)で、明治43年まで使用されました。

宇都宮市年表

西暦年	明治	主な出来事
1896	29	▽市制施行、初代市長矢嶋中、人口3万5233人、戸数69991戸
1897	30	▽県庁内に電話開通
1899	32	▽杉原町に宇都宮電灯会社を設立、市内に初めて電灯がとる。中心部以外はランプ使用
1900	33	▽魚市場開設
1902	35	▽県内初の公衆電話設置
1903	36	▽鶴田停車場(駅)開設
1906	39	▽旭町1丁目大火(全半焼59戸) ▽市内電話開通、加入者は183人
1907	40	▽第十四師団設置決定
1908	41	▽師団司令部で午砲(通称お昼のドン)を開始
1909	42	▽軍道両側に桜を植樹



◀宇都宮駅前風景 駅舎は2代目の駅舎になっており、時代は明治30年代後半から40年代の駅前の光景です。